

A票

本アーカイブデータの集計結果は、報告書に記載されている数値と一致します。ただし、報告書の結果と比較する際に注意が必要な箇所については以下に示しました。

1. 多重回答(二分選択)変数の値ラベルについて

本データにおける多重回答(二分選択)変数については、無回答変数(変数名の末尾に「_na」を付けた変数)が設定してありますが、値ラベルには、0=「非選択(当該項目を選択しなかったが他の項目を選択したもの)」、1=「選択(当該項目を選択したもの)」の他に、9=「無回答(全ての項目を選択しなかったもの)」も併せて設定してあります。

2. スケール変数とカテゴリ変数における「無回答の扱い」について

スケール変数と、それをカテゴリ化した変数を併せて提供している場合、スケール変数では無回答に相当するケースは、値は「999」または「9999」とし、値ラベルは「無回答」と定義しており、あわせて欠損値指定をしています。

一方、カテゴリ変数では当該ケースは、値は「9」または「99」とし、値ラベルは「無回答」と定義していますが、報告書に掲載されている集計表が再現できるように欠損値指定をしていません。

本アーカイブデータで提供している SPSS 形式のデータでは、次のようになっています。

区分	無回答の扱い		
	値	値ラベル	欠損値
スケール変数	999 または 9999	無回答	999 または 9999 を欠損値として指定
	該当する変数 ・無回答の値が 999 「sq9_1_1」、「sq21_1」、「sq28_1」、「sq28_2」、「q33_1」、「q33_3」、「sq39_1」、「q46_1」、「q46_2」、「q49_1」、「q49_2」 ・無回答の値が 9999 「sq9_1_2」、「sq32_2」、「q48_1」、「q48_2」、「q50_1」、「q50_2」、「q51」		
カテゴリ変数	9 または 99	無回答	—
	該当する変数 ・無回答の値が 9 「sq9_1_1_ca」、「sq21_1_ca」、「sq28_1_ca」、「sq28_2_ca」、「q33_1_ca」、「sq39_1_ca」、「q48_2_ca」、「q49_1_ca」、「q49_2_ca」、「q50_1_ca」、「q50_2_ca」 ・無回答の値が 99 「sq9_1_2_ca」、「sq32_2_ca」、「q33_3_ca」、「q46_1_ca」、「q46_2_ca」、「q48_1_ca」、「q51_ca」		

3. 変数の扱いについて

- (1) 問 34 家事、育児、介護に費やす時間及び問 35 平均的な 1 日の睡眠時間(分)を把握するための変数

例 変数名 : q34_1_1_1、q34_1_1_2、q34_1_1_3_go 及び q34_1_1_4_ca

質問の一部（問 34-(a)家事・平日）として、平日に家事に費やした時間を、「〇〇時間△△分」という形で時間および分で聞き、集計時にそれを合算して「分数」に換算しています。このような場合、本データではこの合算した「分数」も併せて公開しています。該当する q34_1_1_1 は時間、q34_1_1_2 は分、q34_1_1_3_go はこの二者を合算して分換算したものです(以上スケール変数)。q34_1_1_3_go を以下のようにカテゴリ化した変数が q34_1_1_4_ca となります。

変数名	カテゴリ（数字は値ラベルの番号）						
	1	2	3	4	5	6	7
q34_1_1_4_ca	0分	1分～1時間	1時間超～2時間	2時間超～3時間	3時間超～6時間	6時間超～10時間	10時間超

同様の扱いをしている変数

q34_1_2_1、q34_1_2_2、q34_1_2_3_go 及び q34_1_2_4_ca（家事・休日）
 q34_2_1_1、q34_2_1_2、q34_2_1_3_go 及び q34_2_1_4_ca（育児・平日）
 q34_2_2_1、q34_2_2_2、q34_2_2_3_go 及び q34_2_2_4_ca（育児・休日）
 q34_3_1_1、q34_3_1_2、q34_3_1_3_go 及び q34_3_1_4_ca（介護・平日）
 q34_3_2_1、q34_3_2_2、q34_3_2_3_go 及び q34_3_2_4_ca（介護・休日）

q35_1、q35_2、q35_3_go 及び q35_4_ca（平均的な1日の睡眠時間）

(2) 追加変数について

調査票上に存在しない「都市区分」（変数名 TOSHIKUBUN、TOSHIKUBUN_re1 及び TOSHIKUBUN_re2）及び「地域別」（変数名 CHIIKI 及び CHIIKI_re）については、調査実施ルートから把握した情報です。各変数の内容は以下の通りです。調査対象地域等については、併せて報告書 3～4 頁を参照してください。

「都市区分」

変数名	カテゴリ（数字は値ラベルの番号）								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
TOSHIKUBUN	東京都区部、大阪市	横浜市、名古屋市、京都市、北九州市	札幌市、仙台市、川崎市、神戸市、広島市、福岡市	千葉市	さいたま市、静岡市、堺市	20万人以上の市	10万人以上の市	10万人未満の市	町村
TOSHIKUBUN_re1	1 東京都区部	2 その他の政令指定都市				3 20万人以上の市	4 10万人以上の市	5 10万人未満の市	6 郡部
TOSHIKUBUN_re2	1 大都市					2 大都市以外			

変数名「TOSHIKUBUN_re1」における「その他の政令指定都市」とは、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、静岡市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市の15市を意味します。なお、本調査実施後に政令指定都市となった新潟市、浜松市、岡山市の3市は含んでいません。

また、変数名「TOSHIKUBUN_re2」における「大都市」とは、政令指定都市を意味します。

「地域別」

変数名	カテゴリ（数字は値ラベルの番号）										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
CHIIKI	北海道	東北	関東	北陸	東山	東海	近畿	中国	四国	北九州	南九州
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
CHIIKI_re	北海道	東北	関東	北陸	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

各地域に区分される都道府県は以下の通りです。

1. 北海道	北海道
2. 東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
3. 関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
4. 北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県
5. 東山	山梨県、長野県、岐阜県
6. 東海	静岡県、愛知県、三重県
7. 近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
8. 中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
9. 四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
10. 北九州	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
11. 南九州	熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

B票

本アーカイブデータの集計結果は、報告書に記載されている数値と一致します。ただし、報告書の結果と比較する際に注意が必要な箇所については以下に示しました。

1. 多重回答（二分選択）変数の値ラベルについて

本データにおける多重回答（二分選択）変数については、無回答変数（変数名の末尾に「_na」を付けた変数）が設定してありますが、値ラベルには、0=「非選択（当該項目を選択しなかったが他の項目を選択したもの）」、1=「選択（当該項目を選択したもの）」の他に、9=「無回答（全ての項目を選択しなかったもの）」も併せて設定してあります。

2. スケール変数とカテゴリ変数における「無回答の扱い」について

スケール変数と、それをカテゴリ化した変数を併せて提供している場合、スケール変数では無回答に相当するケースは、値は「999」または「9999」とし、値ラベルは「無回答」と定義しており、あわせて欠損値指定をしています。

一方、カテゴリ変数では当該ケースは、値は「9」または「99」とし、値ラベルは「無回答」と定義していますが、報告書に掲載されている集計表が再現できるように欠損値指定をしていません。

本アーカイブデータで提供している SPSS 形式のデータでは、次のようになっています。

区分	無回答の扱い		
	値	値ラベル	欠損値
スケール変数	999 または 9999	無回答	999 または 9999 を欠損値として指定
	該当する変数 ・無回答の値が 999 「sq3_1_1」、「q17_1」、「q17_3」、「q24_1」 ・無回答の値が 9999 「sq3_1_2」、「sq16_2」、「q27」		
カテゴリ変数	9 または 99	無回答	—
	該当する変数 ・無回答の値が 9 「sq3_1_1_ca」、「q17_1_ca」、「q24_1_ca」 ・無回答の値が 99 「sq3_1_2_ca」、「sq16_2_ca」、「q17_3_ca」、「q27_ca」		

3. 変数の扱いについて

- (1) 問 18 家事、育児、介護に費やす時間及び問 19 平均的な 1 日の睡眠時間
時間(分)を把握するための変数

例 変数名：q18_1_1_1、q18_1_1_2、q18_1_1_3_go 及び q18_1_1_4_ca

質問の一部（問 18-(a)家事・平日）として、平日に家事に費やした時間を、「〇〇時間△△分」という形で時間および分で聞き、集計時にそれを合算して「分数」に換算しています。このような場合、本データではこの合算した「分数」も併せて公開しています。該当する q18_1_1_1 は時間、q18_1_1_2 は分、q18_1_1_3_go はこの二者を合算して分換算したものです(以上スケール変数)。q18_1_1_3_go を以下のようにカテゴリ化した変数が q18_1_1_4_ca となります。

変数名	カテゴリ（数字は値ラベルの番号）						
	1	2	3	4	5	6	7
Q18_1_1_4_ca	0分	1分～1時間	1時間超～2時間	2時間超～3時間	3時間超～6時間	6時間超～10時間	10時間超

同様の扱いをしている変数

q18_1_2_1、q18_1_2_2、q18_1_2_3_go 及び q18_1_2_4_ca（家事・休日）

q18_2_1_1、q18_2_1_2、q18_2_1_3_go 及び q18_2_1_4_ca（育児・平日）

q18_2_2_1、q18_2_2_2、q18_2_2_3_go 及び q18_2_2_4_ca（育児・休日）

q18_3_1_1、q18_3_1_2、q18_3_1_3_go 及び q18_3_1_4_ca（介護・平日）

q18_3_2_1、q18_3_2_2、q18_3_2_3_go 及び q18_3_2_4_ca（介護・休日）

q19_1、q19_2、q19_3_go 及び q19_4_ca（平均的な1日の睡眠時間）

(2) 追加変数について

調査票上に存在しない「都市区分」（変数名 TOSHIKUBUN、TOSHIKUBUN_re1 及び TOSHIKUBUN_re2）及び「地域別」（変数名 CHIIKI 及び CHIIKI_re）については、調査実施ルートから把握した情報です。各変数の内容は以下の通りです。調査対象地域等については、併せて報告書3～4頁を参照してください。

「都市区分」

変数名	カテゴリ（数字は値ラベルの番号）								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
TOSHIKUBUN	東京都区部、大阪市	横浜市、名古屋市、京都市、北九州市	札幌市、仙台市、川崎市、神戸市、広島市、福岡市	千葉市	さいたま市、静岡市、堺市	20万人以上の市	10万人以上の市	10万人未満の市	町村
TOSHIKUBUN_re1	1 東京都区部	2 その他の政令指定都市				3 20万人以上の市	4 10万人以上の市	5 10万人未満の市	6 郡部
TOSHIKUBUN_re2	1 大都市					2 大都市以外			

変数名「TOSHIKUBUN_re1」における「その他の政令指定都市」とは、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、静岡市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市の15市を意味します。なお、本調査実施後に政令指定都市となった新潟市、浜松市、岡山市の3市は含んでいません。

また、変数名「TOSHIKUBUN_re2」における「大都市」とは、政令指定都市を意味します。

「地域別」

変数名	カテゴリ（数字は値ラベルの番号）										
CHIIKI	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	北海道	東北	関東	北陸	東山	東海	近畿	中国	四国	北九州	南九州
CHIIKI_re	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	北海道	東北	関東	北陸	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	

各地域に区分される都道府県は以下の通りです。

1. 北海道	北海道
2. 東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
3. 関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
4. 北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県
5. 東山	山梨県、長野県、岐阜県
6. 東海	静岡県、愛知県、三重県
7. 近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
8. 中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
9. 四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
10. 北九州	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
11. 南九州	熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県